

# 議会だより

議会だよりは  
分かりやすい議会の入口！  
中に入ってニャ！



## 第51号

CONTENTS	ページ
審議された議案等	2
討論・意見書	3
一般質問（7人が登壇）	5
常任委員会レポート	12
視察レポート（総務建設・市民文教）	16
政務活動費報告	18
議会日程	20

甘いよ〜ん  
たくさん食べてにゃ〜ん



最盛期を迎えた高松ぶどう（デラウェア）

## 第3回定例会のお知らせ

8月30日 10:00～	・本会議（議案説明ほか） ・全員協議会 ・予算決算常任委員会
9月6日 10:00～	・本会議（一般質問）
9月8日 9:00～	・市民文教常任委員会 ・市民文教分科会
9月9日 9:00～	・総務建設常任委員会 ・総務建設分科会
9月13日 9:00～	・予算決算常任委員会
9月14日 9:00～	・市民文教分科会
9月15日 9:00～	・総務建設分科会
9月20日 13:30～	・予算決算常任委員会
9月23日 10:00～	・本会議（討論、採決ほか） ・全員協議会

日程は、都合により変更となる場合もあります。

議会を傍聴しませんか。  
本会議・常任委員会などを傍聴できます。  
どのような議論が交わされているのかぜひ傍聴においでください。  
本会議は30名、常任委員会・全員協議会は8名の定員で受付順となります。



本会議はケーブルテレビ「かほくチャンネル」で生中継・録画を見ることができます。

## 委員のひとり言

東洋経済新報社が先月発表した「住みよさランキング」2016において、かほく市が全国813市区中、第7位にランクされ、一昨年の7位、昨年の9位に続き3年連続ベスト10位以内と高い評価を受けています。県内でもトップクラスとなる定住促進策や子育て支援策などが、この順位の結果に大いに反映されていると思います。

全国7位が起爆剤となり、若い世代にもっと住んでもらえるよう、私も議会の一員として、市の人口増加に向け、活気のあるまちづくりに貢献できるよう活動します。  
（竹内 幹雄）

※議会だよりは、国会図書館にも送付されています。

## 議会改革度調査2015 全国111位(県内2位)

早稲田大学マニフェスト研究所が毎年発表する議会改革度調査において、都道府県及び市区町村を合わせた1,788議会のうち回答のあった1,460議会中、かほく市議会は111位にランクされました。

調査は、議会が果たす役割として①情報共有、②住民参加、③議会機能強化を柱とし、それぞれの改革度合いを数値化してランキングが算出されました。

本市議会では、議会だよりやHPでの賛否結果の公表や政務活動費の収支報告の公表、議会情報の提供などを実施しています。

これからも「市民に開かれた議会」「市民に親しまれる身近な議会」を目指し、改革を進めます。

## 「議会だより」をスマホで



かほく市議会では、「議会だより」をより多くの方に読んでいただけるよう、スマートフォン向け、アプリケーション（アプリ）「i広報紙」を導入しました。

「i広報紙」というアプリをダウンロードすることで、スマートフォンなどから「議会だより」を読むことができます。

※アプリのダウンロードは無料で行えますが、通信費は利用者のご負担となります。

「i広報紙」のダウンロード（無料）方法  
iPhoneの方は「App Store」、Androidの方は「Google play」からダウンロードできます。



ダウンロードページには左記の二次元バーコードからもアクセスできます。



※このアプリは（株）ホープ（福岡市）が作成したものです。  
アプリの閲覧中、広告が表示されますが、その内容に、かほく市議会は一切責任を負いません。

# 平成28年 第2回 定例会

会期/6月14日～6月30日

## 議決結果で賛否が分かれた案件

議案番号	議案名等	議員名(議席番号順)														
		丸井一範	板谷悦郎	金子猛	坂井正毅	多々見邦次	高橋成典	安達肇	多々見武	金田正信	杉本正一	竹内幹雄	杉本成一	寺内照雄	猪村博靖	別宗明敏
議案第49号	平成28年度かほく市一般会計補正予算(第2号)	○	○	○	○	○	×	○	○	○	○	○	○	○	○	○

※ ○=賛成 ×=反対 欠=欠席 退=退席 杉本正一議員は議長職のため採決には参加しません。

## 審議された議案と審議結果

### 〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第48号	専決処分の承認を求めることについて(平成28年度かほく市一般会計補正予算(第1号))	予算決算	原案承認(全会一致)
議案第49号	平成28年度かほく市一般会計補正予算(第2号)		原案可決(賛成多数)
議案第50号	平成28年度かほく市水道事業会計補正予算(第1号)		市民文教
議案第51号	かほく市子ども・子育て基金条例の制定について		
議案第52号	かほく市学校給食センター条例の一部を改正する条例について		
議案第53号	かほく市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
議案第54号	かほく市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
議案第55号	かほく市包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について		
議案第56号	かほく市商工業振興条例の全部を改正する条例について	総務建設	

※議案及び審査の主な内容については、12ページ以降の各常任委員会レポートに掲載しています。

### 〔市長提出議案(人事)〕

議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
同意第7号 ( 同意第18号	かほく市農業委員会の委員の任命につき同意を求めることについて ・現職委員の任期満了に伴い、中村和博氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、塚本晴美氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、中村美枝子氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、今本重蔵氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、種本博氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、岡田忠司氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、大田昇氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、喜綿雅之氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、油野茂樹氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、澤野安隆氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、竹田尋平氏を新たに任命するもの ・現職委員の任期満了に伴い、西東輝雄氏を新たに任命するもの	6月14日	原案同意(全会一致)
諮問第1号	人権擁護委員の候補者の推薦につき意見を求めることについて ・能任まち子委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの。		適任(全会一致)

※同意第7号から第18号までの農業委員会の委員の任命については、農業協同組合法等の一部を改正する等の法律により、農業委員の選出方法が市長の任命制に変更となったために、現職委員の任期満了に伴い改めて任命するものです。

### 〔議員提出議案〕

発議番号	議案名等	上程議決日	議決結果
発議第2号	教育予算の拡充を求める意見書について	6月30日	原案可決(全会一致)

## 討 論

### 議案に対して2氏が討論

#### マイナンバー制度に反対

高橋 成典

議案第49号一般会計補正予算にマイナンバー制度に関連して、行政情報システム管理費506万5千8百円、個人番号交付費822万円と、多額の費用に反対です。1月から開始したマイナンバー制度は、顔写真とICカードのトラブルが多発するなど、全国で1千万枚を受け付けながら「地方公共団体情報システム機構」の不具合で、330万枚にとどまっている。

日弁連は「マイナンバーは個人情報流出の危険、大量の情報漏えいや、なりすましなどプライバシーの侵害が高まる」と、厳しく抗議する声明を発表。

米国や韓国では同制度が大問題となり、英国では廃止した。全国民に番号を割り振り、国民一人ひとりの情報を国が一括して管理する制度のあり方の危険性を含めて反対する。

#### 全議案に賛成

坂井 正毅

9議案全てに賛成する。哲学の杜ライトアップ事業は、かほく市オンリーワンの観光資源である哲学館を中心とした一帯の魅力を最大限に引き出し、市のランドマークとして新たな観光振興と交流人口の増加など更なる活性化につながる。

また、健康ウォーキング事業は、県立看護大やイオン、商工会などと連携して取り組む画期的な事業である。

その他、新婚さん住まい応援事業や商工業振興条例の全部改正による制度の拡充、子ども・子育て基金の創設による住み良さの向上、マイナンバー制度に係るシステム改修や水道事業における給水管の新ルートでの敷設替えによる福祉・生活環境の向上など、どの事業も必要不可欠なものである。

討論の文章は、本人の原稿を最大限に尊重し掲載しています

## 意見書

### 教育予算の拡充を求める意見書

将来を担い、社会の基盤づくりにつながる子どもたちへの教育はきわめて重要であり、2017年度政府の当初予算編成に向けて、次の3点について実現を強く求めるものであります。

- 一、子どもたちの教育環境改善のために、計画的な教職員定数改善を推進すること。
- 二、教育の機会均等と水準の維持向上をはかるため、義務教育費国庫負担制度の負担割合を2分の1に還元すること。
- 三、「いじめ」「自殺」「不登校」など、子どもたちを取り巻くさまざまな問題に対応するため、スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等の増員を図り、相談窓口を充実させること。

提出者

市民文教常任委員長

多々見 武  
(全員賛成)

# 一般質問

総合計画における整備方針は、時代に即した学習環境の確保、既存ストックを活用した循環型への改築・改修工事による長寿命化対策を柱として検討してお

上の利用が想定されている。

**Q** 当初予算で耐力度調査の経費が計上されている七塚及び外日角小学校の整備方針を問う。

**A** 油野市長 両小学校の校舎は、昭和42年建築で、平成20年度に両校とも耐震補強工事が完了し、現在に至っている。



別宗 明敏



耐力度調査する外日角小学校



哲学の柱ライトアップイメージ

り、現在、耐力度調査を実施している。

調査結果を見極めた上で、早期に基本設計、実施設計に着手し、他の小中学校の普通教室のエアコン化の整備時期や学童保育クラブなど施設の複合化についても考慮する。

市長としての任期中である平成31年度までには両校の工事に着手する。

## 質問 1

七塚・外日角小学校の整備手法と時期を問う！  
平成31年度までに着工する！

## 質問 2

「哲学の柱ライトアップ」市としての位置づけは、オンリーワン資源を磨き、新たな賑わいを創出する

**Q** 哲学館をランドマークとして取り組む「哲学の柱ライトアップ」事業の市としての位置づけと全体像について問う。

**A** 市長 市オンリーワン資源のひとつである「石川県西田幾多郎記念哲学館」と「哲学の柱」の魅力に磨きをかけるため、東京スカイツリーの照明を手がけたデザイナー、戸恒浩氏に依頼し「哲学の柱」全体を様々な色彩で照らし、幻想的な光で輝かせる美しいライトアップを行う予定である。

加えて哲学館の運営や道の駅高松、商工会や観光物産協会と連携し、市のランドマークとして積極的に活用し、観光振興と交流人口の増加につなげる。

また、市内の法人から受けた高額の寄付を観光振興基金に積み立て、事業の財源の一部として活用する。

# 平成28年 第1回臨時会

会期/4月25日

## 審議された議案

### 〔市長提出議案〕

議案番号	議案名等	委員会付託先	議決結果
議案第44号	専決処分の承認を求めることについて (平成27年度かほく市一般会計補正予算(第6号))	予算決算	原案承認 (全会一致)
議案第45号	専決処分の承認を求めることについて (行政不服審査法の全部を改正する法律の施行に伴う関係条例の整備に関する条例の一部を改正する条例について)	—	
議案第46号	専決処分の承認を求めることについて (かほく市税条例等の一部を改正する条例について)	—	
議案第47号	専決処分の承認を求めることについて (かほく市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について)	—	

### 〔市長提出議案(人事)〕

議案番号	議案名等	上程議決日	議決結果
同意第1号	かほく市副市長の選任につき同意を求めることについて ・架谷外茂治副市長の任期満了に伴い、引き続き再任するもの	4月25日	原案同意 (全会一致)
同意第2号	かほく市教育長の任命につき同意を求めることについて ・遠田敏博教育長の任期満了に伴い、新たに山越充氏を任命するもの		
同意第3号	かほく市公平委員会の委員の選任につき同意を求めることについて ・金津五雄委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの		
同意第4号	かほく市監査委員の選任につき同意を求めることについて ・黒田太喜雄委員の任期満了に伴い、引き続き再任するもの		
同意第5号	かほく市固定資産評価審査委員会の委員の選任につき同意を求めることについて ・竹中藤藏委員の任期満了に伴い、新たに青地雅夫氏を選任するもの		
同意第6号	かほく市教育委員会の委員の任命につき同意を求めることについて ・寺西哲秀委員の任期満了に伴い、新たに南文夫氏を選任するもの		



補欠選挙の結果を受け、総勢15人となった議会。

# 一般質問



板谷 悦郎

**Q** 食べられる状態なのに捨てられる「食品ロス」は家庭やスーパー、ホテルやレストランなどあらゆるところで見受けられる。日本では年間2801万トンの食品廃棄物が発生し、うち642万トンが食品ロスと推計される。

**①** 学校や保育所など、教育施設での学校給食や食育・環境教育などを通しての食品ロス削減のための啓発は。

**②** 家庭での食品在庫の適正管理や有効活用の取り組み、飲食店などでの、残さず食べる運動や持ち帰り運動の展開など、市民・事業者が一体となった食品ロス削減の取り組みは。

**③** 未利用備蓄食品の有効活用

## 質問 1

食品ロス削減に向けての取り組みを推進せよ

関係方面と協議、検討していく

として、消費期限の6カ月前にフードバンクなどへの寄付を検討しては。

**A** 油野市長 食品ロスの削減は、廃棄物の発生を抑制し、温室効果ガスの削減による地球温暖化対策にもつながる。

**①** 平成26年3月に第2次かほく市食育推進計画を策定し、積極的に食育に取り組んだ結果、給食の食べ残しはほとんどないと聞いており、今後も子供たちに食に関する正しい知識と望ましい食習慣を身につけるために、学習の機会を提供していく。  
**②** 市民・事業者がそれぞれの立場でできることから着実に進めることが重要であり、今後、関係方面と協議・検討していく。

**③** 災害備蓄食料については災害時備蓄計画に基づき、期限が近づいたものを有効に活用し、その分を新たに補充するという循環備蓄の方法により調整をしている。

### 質問 2

若者の政策形成過程への参画について

政治に参画する若者も出てくることを期待する

**Q** 子ども議会など若年層への取り組みをしているが、さらに年齢層を広げ、若者の政治参画を促進する施策を推進すべきではないか。

**A** 市長 少子・高齢化が急速に進む中、日本の将来を担っていく若者の政治離れについては、大変憂慮すべき事態であると認



毎年開催される「子ども議会」

識している。各分野を代表した委員で構成する有識者会議で審議し、総合戦略や人口ビジョンに対し提言をいただき機会を捉えて、若い世代の意見を市政に反映するよう努めてきた。今後とも政治に参画する若者ももっと出てくることを期待する。

# 一般質問



坂井 正毅

**Q** 第2次かほく市総合計画でも主要項目に掲げられている「安全・安心のまちづくり」の主要事業である国道159号の交通安全対策事業など、以下4つの国・県事業の進捗状況を問う。

**①** 国道159号交通安全対策事業

**②** 河北縦断道路

**③** かほく東西幹線道路

**④** 人工リーフの設置

**A** 油野市長 ① 既存事業である木津交差点改良事業及び遠塚・秋浜交差点改良事業については、取得済みの用地において順次工事が進められており、早期完成を優先する意向であると聞いている。

## 質問 1

国道159号など国・県事業の進捗状況は

早期採択に向け継続的に提言活動を行っていく

また、高松地区自歩道整備事業についても、早期に採択されるよう継続的な提言活動を行うとともに、事業推進の前提となる用地交渉などについて、国と地権者との調整など積極的に事業進捗を図るための協力を行っていく。



国道159号高松地区

**②** 河北縦断道路は、石川県の掲げる「ダブルラダー輝きの美知」の南北幹線に位置付けられる道路であり、上山田から津幡町の加茂間において、仕上げの最終工事が進められている。また、県議会において、谷本知事より予定を前倒して今年秋にも完成させ、供用開始出来る目処があったとの説明があった。

**③** 平成26年度の起工式以来、工事は順調に進んでおり、整備に時間を要する跨線橋工事についても、昨年度までに市道を跨ぐ区間の橋梁下部工5基が完成しているほか、JR七尾線前後の道路工についても、順次進められている。



海岸護岸の復旧工事（白尾地内）

**④** 昨年度に本市で6基目となる人工リーフが遠塚地内で完成し、設置前より砂浜が広がったとの報告を受けている。また、今年度は松浜地内において、新規人工リーフに着手したとのことである。さらに、白尾・大崎地内では消波ブロックを設置する海岸護岸の復旧工事が実施されている。

# 一般質問



丸井 一範

**Q** 市の資金運用について、預金の預け先や債権の購入をどのように決定しているのか、運用益も含め問う。

**A** 油野市長 資金運用については、地方自治法において「最も確実かつ有利な方法で保管する」と定められており、確実・安全性を第一に考え管理している。

定期預金の預け先や債券の購入は、公金運用委員会で決められた公金運用方針に基づき実施しており、購入は債券市場を注視して判断している。

また運用益については、平成27年度で約1千万円、現在保有する定期預金や債券の満期時点では、総額4千500万円を見込んでいます。

## 質問 1

### 市の資金運用の現状について

### 確実性、安全性を第一に考え管理している

## 質問 2

**大規模災害時の避難者数は。また備蓄品の状況は森本・富樫断層地震を想定して備蓄している。**

**Q** 熊本地震はまだ記憶に新しいが、市において大規模災害が起こった場合の想定避難者数及び備蓄品の状況を問う。

**A** 森田市民部長 想定避難者数は2千4名であり、避難所は市内9箇所、収容可能人数は5388人である。

食料では、アルファ米・乾パン・ビスケット・粉ミルクなど、日用品では、毛布・衛生用品などさまざまな物資を想定避難者数の3日分備蓄している。

## 質問 3

**ネーミングライツや広告を募集してはどうか**

**Q** 新たな財源として、市内公共施設のネーミングライツ（広告募集）や広報、福祉バスなどに企業広告を募集してはどうか。

**A** 坂本総務部長 かほく市の小さな小規模な自治体の施設では、ネーミングライツの導入は難しい。

広報などの企業広告に関しても、現時点では考えていない。

## 質問 4

**運転免許証の自主返納支援を促進せよ**  
**現在の支援内容を継続し、更なる拡充策も検討する。**



商工会の商品券1万円分

**Q** 高齢者の運転による事故が多発しているが、自主返納を促進させる取り組みをしてはどうか。

また、現在の返還状況は。  
**A** 市民部長 平成27年度から自主返納者に対し、商工会の商品券1万円分を付与している。

返納者は、平成25年度18件、26年度40件、27年度は75件と年々増加しており、更なる促進に努める。

# 一般質問



高橋 成典

**Q** 市の子どもの貧困実態を調査し、具体的な対策を講じること。

金沢市では、貧困状態にある子どもへの対応強化に向けて、関係部局を横断した対策チームを発足させ、福祉や教育、労働など様々な視点から現状を把握し、有効な施策を打ち出すとしている。

県内の事例なども踏まえ市の対策を問う。

**A** 森田市民部長 市独自の調査は現時点では考えていないが、貧困対策に関連する情報共有や関係部局間の連携強化を図るとともに、様々な支援対策を検討していく。

## 質問 1

### 子どもの貧困実態を調査し、具体的な対策を

### 関係部局と連携し、様々な支援対策を検討する

## 質問 2

**65歳になると障害者医療助成が窓口負担になる**  
**県に改善要望している**

**Q** 身体障害者医療費助成制度の窓口無料（現物給付）が65歳になると一転して償還払いになる。

また、障害者には介護保険優先原則の問題がある。  
市の実態と改善策は。

**A** 市民部長 これまでも県に対し、65歳以上の現物給付を要望しているが、県は慎重である。障害福祉サービスに関する具体的な利用意向を把握した上で、申請者が必要とする支援内容が介護保険の適用となるか否かを適切に判断している。

## 質問 3

**就学援助入学前に支給を**  
**他市町を参考に検討する**

**Q** 準要保護世帯の就学援助を実態に見合った額に引き上げる。  
また、県内でも白山市が入学前の3月に支給。来年度から、羽咋市や小松市も実施する。

かほく市でも実施を。  
**A** 山越教育長 現時点では、就学援助の引き上げは考えていない。

入学前の3月支給は、新入学生児童生徒の学用品費に限って、他市町の動向も参考に検討する。

## 質問 4

**大崎キャンプ場の改修を多額の費用が必要**

**Q** 老朽化が著しく、利用者から改善要望のある大崎キャンプ



老朽化が著しい施設（大崎地内）

場を、今の自然環境を活かしリニューアルすべきだ。

**A** 瀬戸産業建設部長 改修工事に多額の費用が見込まれ、使用料に転化すると低料金の利点が失われる。

今年度で指定管理期間が終了するので、来年度以降の同施設の在り方について、指定管理者である大崎区と協議する。

# 一般質問



安達 肇

**Q** バレーボールのPFUブルーキャッツがVプレミアリーグへの昇格を果たし全国的にも注目されている。市民が一層応援することに地域への一体感を醸成するとともに、当市を全国にPRする絶好の機会と考える。一企業のチームではあるが、企業はスポーツ振興や競技力向上などにおいて社会貢献を行っており、地域活性化に活用することは、国が定めたスポーツ基本法の理念に叶っている。

そこで以下3点について問う。

① ブルーキャッツの試合を「かほくチャンネル」でどこまで放送することが可能か。

② イベントなどに選手や双方のマスコットキャラクター「にゃんたろう」と「ブルーニャ」

## 質問 1

「にゃんたろう」と「ブルーニャ」の交流を  
カップルイベントをPFUに提案する

んたろう」と「ブルーニャ」を招き交流を図る考えは。

③ 全国各地の試合で、本拠地は「かほく市」であることを知らせるなどPRできないか。

今後は「にゃんたろう」と「ブルーニャ」のカップルイベントなどを提案し、今まで以上に交流を図っていききたい。

③ Vリーグ機構や選手の肖像権、商標関係などの課題が予測されることから、どのような形で「かほく市」を全国にPRできるかをPFUとも相談し、積極的に取り組んでいきたい。



「にゃんたろう」と「ブルーニャ」

**質問 2**  
美術品の展示スペースをローテーションも検討

**Q** 旧七塚・高松庁舎などに展示されていた絵画など美術品で、現在、展示されていない美術品が倉庫に33点あるとのことだが、庁舎などの空きスペースにおいて、展示スペースを設ける考えは。

**A** 板坂総務部長 各施設で絵画などを展示できる適切なスペースがないか検討するとともに、現在、庁舎内や市内各施設に展示してある絵画などを定期的なローテーションで掛け替えを行うなど、美術品を倉庫に眠らせずに市民の皆様へ鑑賞していただくような努力をしていく。

# 一般質問



多々見 邦次

**Q** 市内には多くの空き家があり、多くは老朽化して危険な状態である。落下物からの危険回避のため、2年近くも片側通行を強いられ、遠回りをしての通勤・通学を余儀なくされている。今議会で環境安全対策事業費として468万2千円が計上されているが、どの程度までの処置を考えているのか。

**A** 油野市長 国において空き家対策の推進に関する特別処置法が制定され、市も4月に空き家等の適正管理に関する条例を施行した。

空き家の中でも特に倒壊など保安上、危険となる恐れのある

## 質問 1

危険な空き家、どの程度まで処置するのか  
緊急安全対策処置として飛散防止対策を施す

管理不全な空き家を特定空き家として、所有者または管理者に対し、除去・修繕などの指導ができるようになった。

高松地内の建物については、市道に面して外壁が破損・飛散している状況であり、緊急安全処置として飛散防止対策を施し、できる限り危険な状態を回避する。



外壁が飛散している廃屋

## 質問 2

**質問 2**  
公衆電話を再度設置できないか  
必要とは認識していない

**Q** 高松産業文化センター前に設置してあった公衆電話ボックスが撤収されている。高松地区の文化の中枢とも位置づけられている処に、公衆電話がないとは考えられない。

NTTの民営化に伴い、採算の取れないところは撤収との方針だそうだが、再度設置する考えはないか。

特に部活をしている中学生は、家に迎えの電話をするにも、学校の電話には長蛇の列ができ、産業文化センター前の公衆電話は重宝されていた。



公衆電話に並ぶ長蛇の列

**A** 板坂総務部長 設置者であるNTTが、平成25年に撤去したものであり、携帯電話やスマートフォンが普及で公衆電話の利用者が大幅に減少し、採算の取れない公衆電話については、順次撤去の方針だと伺っている。今後、公衆電話が必要かどうか、また、設置が可能かどうか検討していく。

総務 建設 常任 委員会

企業誘致・雇用創出を目指す条例改正

おもな審査内容  
(所管事項含む)

◎商工業振興条例の全部を改正する条例

この条例改正は、名称を「かほく市企業立地の促進及び商工業振興に関する条例」として全部を改正するもので、工場等立地助成を受けるための各種要件の緩和と助成額及び限度額の拡充に加え、新たに企業の本社機能施設の移転、並びに雇用促進に対する助成を新設するもの。

この条例により、多様化する企業のニーズに応えながら支援体制を強化し、さらに、地場企業の育成及び効果的な企業立地の促進につなげることを目的とするものである。

板谷委員

新設の雇用促進助成金では、雇用人数により助成額が変わるとの説明であったが、雇用人数に上限はあるか。

上野産業振興課長

雇用人数による上限ではなく、工場立地助成金などの限度額は、雇用促進助成金を含め新設3億円、増設2億円となっている。

竹内委員

条例改正により、新規または増設をする意欲的な企業が出てくれるよう期待するが、用途地域の規制による、工場の増設など不都合はないか。

瀬戸産業建設部長

用途地域の関係で、既存の工場などでは、同じ場所で増設できない場合もあるが、用地のあつせんや道路・用排水路の整備などについても助成措置を設けており、しっかりと説明や協議し、助成金を活用していただけるよう努める。

議会と意見交換  
してみませんか

議会では、市民の皆様と自由に情報及び意見を交換することによって、市政の更なる発展、議会の活性化を目指し、議会報告会を開催しています。  
議会との意見交換をご希望される団体等、お気軽にご連絡下さい。

【問合せ先】  
かほく市議会事務局  
電話 283・7126

総務建設常任委員会

- 委員長 坂井 正毅
- 副委員長 板谷 悦郎
- 委員 猪村 博靖
- 寺内 照雄
- 竹内 幹雄
- 金田 正信
- 多々見邦次

市民 文教 常任 委員会

子育て環境充実のため基金創設

おもな審査内容  
(所管事項含む)

◎子ども・子育て基金条例の制定

基金の創設はいいことである。低金利の今、積み増しが必要ではないか。

千田子育て支援課長

財政部局と協議しながら、他の財源も活用するなど有効利用していく。

◎学校給食センター条例の一部を改正する条例

教育委員長と教育長の職務を併せ持つ新教育長が任命されたことに伴い、学校給食センター運営委員会の委員について、教育委員会からの選出は会務を総理する教育長のみとし、条項から教育委員会の委員を削るもの。

◎包括的支援事業の実施に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

介護保険法施行規則の一部を改正する省令により、地域包括支援センター職員に関する基準の中で、主任介護支援専門員の要件として、5年以内ごとに更新研修を受講しなければならぬ規定を追加するもの。

◎家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例

家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準の一部改正により、小規模保育事業A型及び事業所内保育事業における保育士配置要件などを、国の基準に合わせて弾力化するために、所要の改正を行うもの。

高橋委員

現在、市内で運営されている小規模保育園の認可基準は、

子育て支援課長

現行の基準により認可しているが、緩和された要件で変更の認可申請などが出た場合は、今回の基準により審査することとなる。

市民文教常任委員会

- 委員長 多々見 武
- 副委員長 金子 猛
- 委員 別宗 明敏
- 杉本 成一
- 安達 肇
- 高橋 成典
- 丸井 一範

**予算  
決算  
常任  
委員会**

総務建設分科会 「哲学の杜」魅力アップで観光振興

市民文教分科会 産学官で健康ウォーキング事業

議会定例会初日の6月14日に議案説明を受け、質疑を経て各議案の詳細な審査を分科会で行い、6月28日に両分科会での審査内容の報告を受け、採決を行った。

**総務建設分科会**  
6月23日開催

**おもな質疑**

**猪村委員**

高額の寄付を活用し取り組む、哲学の杜ライトアップ事業はコンセプトを明確にし、効果のあるものにせよ。

**上野産業振興課長**

哲学館を訪れる市内外のみならずが楽しめることを重点にし、デザイナーと現地確認を行いながら検討していく。

総務建設分科会 審査案件	
専決処分 平成28年度かほく市一般会計補正予算(第1号)	内容 ・市内法人による高額寄付金の観光振興基金への積立金
平成28年度かほく市一般会計補正予算(第2号)	主要内容 ・哲学の杜ライトアップ事業実施設計委託 ・新婚さん住まい応援事業の拡充に係る経費 ・社会保障・税番号制度システム改修費 ・公園維持管理事業(施設等長寿命化・トイレ改築)
平成28年度かほく市水道事業会計補正予算(第1号)	内容 ・給水管(JR踏切横断管)布設工事 ・七塚配水池整備事業(用地購入)

**板谷分科副委員長**

新婚さん住まい応援事業における制度拡充の周知方法は、

**山口企画情報課長**

ホームページ、ケーブルテレビ、広報誌などで周知するとともに、すでに申請のあった約20世帯には直接案内を送付する。

**寺内委員**

公園の施設修繕では、より耐用年数の長い材質を使用せよ。

**山森都市建設課長**

設計段階で材質についても検討し、費用対効果の高いものにしていく。



修繕する公園施設(七塚中央公園)

**金田委員**

マイナンバー制度に伴うシステム改修費に対する国庫補助金の額が少ないのでは。

**企画情報課長**

国の基準では、補助金額が人口規模により算定されるため、どの自治体も全体事業費のごく一部にとどまっており、当市だけが少ない訳ではない。

**市民文教分科会**  
6月24日開催

**おもな質疑**

**安達委員**

健康ウォーキング事業に伴いご当地ワオンカードを1万枚購入することになっているが、将来的な活用見込みはあるか。

**森田市民部長**

市民全体の健康づくりのツールとして、ご当地ワオンカードを利用するものであり、現状では健康ウォーキングによる健康ポイントを貯めるための機能だけである。

将来的には、にゃんたろうカードとの連携なども含めて検討し、健康づくりを通じた地域振興にもつなげていきたい。

**杉本成一委員**

市全体の地域振興となるよう市商工会としっかり協議していくべきだ。

**市民部長**

先進地の事例も踏まえて、市商工会と協力しながら進めていく。

**高橋委員**

危険空家応急対策の対象となる空家の範囲は、

**池田防災環境対策課長**

所有者または管理者などがある場合は、指導により対応することとなるが、所有者などが権利放棄などで存在しない場合で、管理不全により危険と判断した場合などに応急対策を実施する。

**丸井委員**

婚活・妊活応援事業による成果は、

**千田子育て支援課長**

昨年度の婚活事業では、4組が成立した。

**越井健康福祉課長**

一般及び特定不妊治療費の全額助成を行っており、特定不妊治療により昨年度実績で18人の方が出産している。

**高橋委員**

介護保険の事業計画に基づく施設整備により、入所待機者の解消は図れるか。

**寺嶋長寿介護課長**

すべての待機者について解消できるものではないが、ミニ特養・グループホームの整備により、かなり解消することになる。

**予算決算常任委員会**

- 委員長 金田 正信
- 副委員長 猪村 博靖
- 委員 議長を除く12名

**常任委員会レポート**

**常任委員会レポート**

総務建設

常任委員会

5月17日～19日

有害鳥獣被害対策

捕獲後の有効活用

福岡県糸島市

糸島市における農作物被害額は年間約8千万円。その内4割がイノシシによるものである。イノシシの捕獲等奨励金は1頭2千円で、平成26年度実績では年間約2千頭を捕獲したとのことである。

捕獲後の有効活用として、県の支援事業によりイノシシ加工処理施設を設置し、浮嶽くじら処理加工組合を設立し、管理運営を行っている。

平成27年収支は、62頭の解体処理を行い、販売額が約2百万円となっており、捕獲奨励金や

県の補助金により、なんとか黒字となる状況であった。

今後は、販路拡大のために生肉だけでなくウインナーなどの加工品開発を行い、市内の直売所だけでなく、通販を含む小売を中心にするとのことである。

また、捕獲頭数が不安定であることや販売に掛かるコストが大きいなどの課題があると聞き、有害鳥獣の有効処理については、県内自治体との連携も含め、慎重に検討していくべき課題であると考えさせられた。



糸島市役所にて

組織マネジメント

「部課長の仕事宣言」

佐賀県鳥栖市

「部課長の仕事宣言」とは、部長及び課長の業務における目標宣言であり、業務方針を明らかにすることで、部全体または課単位で目標の共有を図るものである。

目標は、総合計画における重要施策や課題の解決策、鳥栖市の魅力を高める取り組みに位置づけられている「リーディングプロジェクト」と呼ばれる施策の具体的な取り組みに連動するものであるため、リーディングプロジェクトの進行管理のツールとしても部課長の仕事宣言を活用しているとのことである。

また、市役所の各部・各課は、目標達成に向けた取り組みを進め、業務目標の達成状況を評価し、結果をホームページにおい

て公表しており、透明性のある取り組みであった。

取り組みによる効果については、組織全体の方針と職員一人ひとりの職務における方向性や価値観が合致することにより、職員の意識改革・組織改革が進められたとのことであった。

当市でもすでに事業評価システムを実施し、効果を上げているが、鳥栖市の取り組みはPDCAを確実に実行しているなど、さらなる行政運営効率化の参考となる研修であった。



鳥栖市役所にて

市民文教

常任委員会

5月31日～6月2日

ふれあい収集事業

について

北海道余市町

余市町では、ゴミ収集のステーション化と同時にふれあい収集事業を導入し、対象世帯は要支援や要介護の認定者と同程度の高齢者の世帯、冬期間にゴミ出しができない世帯などで、担当職員が自宅を訪問し、状況を確認してから、利用の可否を判断することのことであった。

実際の収集では、委託先の一般廃棄物収集運搬業者が指定の収集曜日に週1回訪問し、ゴミの収集に合わせて安否確認を行い、平成27年度実績では、利用世帯が92世帯で年々増加してい

ることであった。

収集業者が安否確認できない場合は、担当課に連絡し、担当課が安否確認をすることになるが、収集曜日を忘れて、買い物などに出かけているなど、安否確認のために相当の時間を要する場合が多いとのことであり、また、分別方法がしっかりとできておらず、翌日に委託業者の職員3名により再度分別しているなど課題もあった。

高齢者世帯などの見守りという点からも有効な施策であり、今後も民間業者の活用も含め、検討が必要な施策であった。



余市町役場にて

独居老人携帯見守り

サービスについて

北海道白老町

白老町では、平成22年の高齢化率が33%で、一人暮らしの在宅高齢者も約2千人と増加傾向であった。

そのため、安否確認を含め高齢者を地域で支援する仕組みが必要であり、国の交付金を活用し、携帯電話を利用した独居老人見守りサービスを開始した。

具体的には、対象者の携帯電話に内蔵の歩数計データが1日1回自動送信されることで、安否確認をとることができ、また、携帯電話の「予約・相談・緊急」のボタンにより、宅配買物の予約や地域支援ボランティアへの相談ができるなどのサービスを利用できる。

利用者からは「見守られている安心感がある」と好評である

が、高齢の方が多く、操作方法が分からないなどの理由により、相談などの利用実績が少ないことや、充電忘れによりメールが自動送信されず、安否確認に時間を要するなどの課題もあるとのことであった。

また、携帯電話のモデルチェンジなどに伴う更新費用や支援ボランティアなどの確保など、事業を維持していくには難しい面もあり、今後、地域全体での見守り支援を検討していく上で、参考となる視察であった。



総合保健福祉センターにて

# 全国各地から行政視察の受入れ続々！！

視察受入れ一覧(予定含む)

受入日	議会名	視察テーマ
H28.04.20	三重県津市議会 会派	定住促進の取り組みについて
H28.05.11	埼玉県上尾市議会 健康福祉常任委員会	子育て応援事業について
H28.05.11	山口県光市議会 環境福祉経済委員会	上下水道施設の包括的民間委託について
H28.05.18	宮城県石巻市議会 会派	定住促進の取り組みについて 地方創生の取り組みについて
H28.05.18	鹿児島県指宿市議会 産業建設委員会	定住促進の取り組みについて
H28.05.19	鹿児島県薩摩川内市議会 建設水道委員会	上下水道施設の包括的民間委託について
H28.05.23	鳥取県米子市議会 会派	定住促進の取り組みについて
H28.05.24	栃木県大田原市議会 総務常任委員会	定住促進の取り組みについて
H28.05.26	岐阜県瑞浪市議会 議会運営委員会	議会による行政評価について 予算決算常任委員会の設置について
H28.05.27	新潟県燕市議会 議会運営委員会	議会による行政評価について 議会運についての課題と対策
H28.07.04	宮城県富谷町議会 教育民生常任委員会	子育て応援事業について
H28.07.11	愛知県碧南市議会 会派	定住促進の取り組みについて
H28.07.13	島根県雲南市議会 総務常任委員会	定住促進の取り組みについて
H28.07.20	福岡県田川市議会 会派	定住促進の取り組みについて
H28.07.21	愛知県江南市議会 会派	定住促進の取り組みについて
H28.07.28	長崎県雲仙市議会 産業建設常任委員会	上下水道施設の包括的民間委託について
H28.08.01	長野県中野市議会 経済建設委員会	定住促進の取り組みについて
H28.08.02	栃木県真岡市議会 産業建設常任委員会	定住促進の取り組みについて
H28.10.04	埼玉県桶川市議会 民生経済常任委員会	定住促進の取り組みについて 子育て応援事業・道の駅「高松」について
H28.10.20	愛知県丹羽広域事務組合	水道施設の包括的民間委託について 水道施設の長寿命化等の取り組みについて
H28.11.09	千葉県流山市議会 教育福祉常任委員会	子育て応援事業について

昨年度、新幹線開業などで、石川県が注目され、本市においても全国各地から行政視察の受入れが急増しました。今年度も、昨年度以上のペースで行政視察の申込みがあります。(左表)

視察テーマは、昨年度同様、定住促進に関する視察が一番多く、その他、子育て支援施策、子育て促進に関する視察が、昨年同様、注目されています。

議会による行政評価や予算決算常任委員会の設置、道の駅整備、上下水道施設の包括的民間委託など、幅広いテーマでの行政視察を受け入れています。特に、定住促進事業の施策として、1月からスタートした「ママ課プロジェクト」が注目されており、ママの視点を取り

## 全国市議会議長会から 永年勤続表彰受ける

5月31日に東京で開催された全国市議会議長会の総会の席上、長年の功績を讃え、多々見邦次議員に10年勤続の表彰状が贈られました。

14日の定例会本会議の席上、杉本正一議長から表彰の伝達を行いました。



多々見邦次議員

# 政務活動費とは 政務活動費の収支を公開します

## ◆政務活動費とは

政務活動費とは、地方自治法第100条の規定に基づき、議員の調査研究その他の活動に資するため必要な経費の一部として交付されています。

本市では、「かほく市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、議会の活性化や議員個々の政策形成能力、法制能力、調査能力等の向上、市政に関する調査研究活動基盤の充実に資するため、議員に対して、年24万円(月額2万円)を交付しています。

## ◆政務活動費を充てることができる経費の範囲

政務活動費は、下記の別表で定める政務活動に要する経費に充てることができます。

項目	内容
調査研究費	議員が行う市の事務、地方財政等に関する調査研究及び調査委託に関する経費
研修費	議員が研修会を開催するために必要な経費、団体等が開催する研修会の参加に要する経費
広報費	議員が行う活動、市政について住民に報告するために要する経費
広聴費	議員が行う住民からの市政及び議員の活動に対する要望、意見の聴取、住民相談等の活動に要する経費
要請・陳情活動費	議員が要請、陳情活動を行うために必要な経費
会議費	議員が行う各種会議、団体等が開催する意見交換会等各種会議への議員の参加に要する経費
資料作成費	議員が行う活動に必要な資料の作成に要する経費
資料購入費	議員が行う活動のために必要な図書、資料等の購入に要する経費
人件費	議員が行う活動を補助する職員を雇用する経費
事務所費	議員が行う活動に必要な事務所の設置、管理に要する経費

## ◆使途基準

本市議会では、政務活動費の使途基準を定め明確化するとともに、領収書等の証拠書類を添えた収支報告書の提出を義務づけるなど、透明性の高い運用をしています。

## ◆収支報告書

政務活動費の収支報告書は、次年度の4月30日までに、領収書又はこれに準ずる書類を添付して、議長に提出しなければなりません。

政務活動費(平成27年度交付分)収支報告書										
議員氏名	平成27年度 交付決定額	支出総額	支出内訳						返還額	
			調査 研究費	研修費	広報費	広聴費	資料 作成費	資料 購入費		
板谷 悦郎	240,000	250,184		110,852	35,658			57,601	46,073	0
金子 猛	240,000	270,982	25,110	78,610	36,300			48,089	82,873	0
坂井 正毅	240,000	172,633		78,610				16,185	77,838	67,367
多々見邦次	240,000	286,016		94,500	32,136			19,308	140,072	0
高橋 成典	240,000	263,673		0	185,729	4,080		24,978	48,886	0
安達 肇	240,000	246,034	61,610	17,000	20,088			0	147,336	0
多々見 武	240,000	248,614	93,308	17,000				29,124	109,182	0
金田 正信	240,000	171,194		9,000	24,910			7,886	129,398	68,806
杉本 正一	240,000	259,386		138,612				0	120,774	0
竹内 幹雄	240,000	168,538	93,320	17,000				8,964	49,254	71,462
杉本 成一	240,000	252,561	87,960	17,000				43,831	103,770	0
寺内 照雄	240,000	204,782		17,000				75,000	112,782	35,218
猪村 博靖	240,000	276,154	93,028	17,000				56,295	109,831	0
別宗 明敏	240,000	262,123		117,860				20,229	124,034	0